

(別紙)

鳥獣被害防止総合支援事業(及び鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業)の評価報告(令和2年度報告)

実施主体名 北九州市・水巻町鳥獣被害防止対策広域協議会

1 事業効果の発現状況

導入した箱わなにより、イノシシの捕獲対策が進み、平成30年度から令和2年度の3年間で3,909頭のイノシシを捕獲した(有害鳥獣捕獲分)。また侵入防止柵も平成30年度から令和2年度の3年間で、農業者自らが36,498m設置し、地域ぐるみでのイノシシ防除を実施している。サル対策では、テレメトリー機材を活用した、地域ぐるみでの追い払いが定着し、サルの群れが山から集落に下りてくる機会が減少し、農作物被害も減少傾向である。

2 被害防止計画の目標達成状況

被害の軽減目標について、被害金額ではすべての鳥獣において目標を達成した。被害面積については、イノシシ、サル、シカによる被害が目標を下回った。イノシシについては、捕獲頭数は年々増加しているが被害状況の大幅な減少には結びついていない。

3 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

Table with 10 columns: 事業実施主体名(協議会名), 対象地域, 実施年度, 対象鳥獣, 事業内容, 事業量, 管理主体, 供用開始, 利用率・稼働率, 事業効果. It details the implementation of bird and animal damage prevention measures across three years (Heisei 30, Reiwa 1, and Reiwa 2) in Kitakyushu City.

注1: 事業内容は、実施年度ごとに記載すること。
注2: 被害金額及び被害面積の目標欄については対象鳥獣及び目標値を記載し、これに合わせて他の欄も記載する。
注3: 事業効果は記載例を参考とし、獣種等ごとに事業実施前と事業実施後の定量的な比較ができるよう時間軸を明確に記載の上、その効果を詳細に記載すること。整備事業を行った場合、捕獲効率の向上にどのように寄与したかも必ず記載すること。

Table titled '被害防止計画の目標と実績' (Targets and Actuals of Damage Prevention Plan). It compares target and actual values for damage amount and area for various species (Iノシシ, サル, シカ, ヒヨドリ, スズメ, ドバト, カラス) across three years, including achievement rates.

(注4)被害金額及び被害面積の目標欄については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。
(注5)達成率=(基準年値-実績値)/(基準年値-目標値)。達成率が70%未満の場合は、別途改善計画作成の必要あり。
(注6)「事業実施主体の評価」の欄には、その効果に対する考察や経営状況も詳細に記載すること。

4 第三者の意見

Table for '第三者の意見' (Opinions of Third Parties). It includes columns for Name, Affiliation/Position, and Comments. A comment from 村上徹哉 (Murakami Tetsuya) discusses the high achievement rate of damage prevention and the need for continued efforts.

※「第三者の意見」とは事業実施主体及びその属する市町村の被害防止対策協議会の構成メンバー以外の学識経験者の意見とする(本評価については、公表する必要があることに留意すること)。